リハビリテーションとは？

リハビリテーションとは、病気・怪我などによって身体が不自由となった人々に対し、身体と心の両面から機能の回復・維持をはかる医療の一つです。これらを、医師・看護師・他の医療職種、患者本人およびその家族と共に治療を行う仕事です。

治療内容は筋力訓練・歩行訓練等の身体的な回復を目指す訓練、動作的な回復を目指す日常生活訓練（家事動作や更衣動作など）、言葉や食事動作の回復を目指す言語訓練や嚥下訓練等があります。この他にも様々な訓練があります。

現在の医療では、怪我の手術後や病気の発症後なるべく早期にリハビリテーションを開始することで、過度の安静による体力の衰えや気持ちの落ち込みなどを避けることが重要と考えられています。入院直後から出来る限り元の生活に戻れるように積極的なリハビリテーションを行います。また、障害が残ってしまった患者様に対しては残された心身の機能を最大限生かすことで、より質の高い生活ができるように支援していきます。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について教えて下さい

1 理学療法士

理学療法士とは筋力低下や関節の動きが悪いなどの身体能力低下の回復や起き上がり・立ち上がり・歩行などの体を動かす能力や階段の上り下りなどの日常生活で使う動作の回復を図る職種です。その他の仕事内容として車椅子・杖などの使用に関するアドバイスや住宅環境・住宅改修のアドバイス等も行っています。

2 作業療法士

作業療法士は、年間約200名の患者さんに対して訓練を行っています。ほぼ全員が脳血管疾患の方であり、上記症状の他にも、高次機能障害といい空間の半分を認識出来ない方、注意が散漫で集中して行動する事が出来ない方等がいらっしゃいます。そのような方に対し、急性期の作業療法では主に2つの事を中心に行っています。1つ目が麻痺をした上肢の機能訓練、2つ目は残された機能で日常生活を少しでもご自分で出来るように訓練を行います。今年の4月より新人が3名加わり4人体制となりました。今後はより質の高い作業療法を提供出来るように皆で精進していきたいと思います。

3 言語聴覚士

言語聴覚士は、脳卒中などにより言葉や記憶、摂食嚥下（食べ物を飲み込むこと）の障害を持つ患者様のリハを行っています。会話や嚥下が困難であることは治療の妨げとなるだけでなく不安、低栄養、肺炎等の引き金にもなります。医師・看護師と協同して嚥下の詳しい検査を行い慎重に評価し、安全に口から食べる事を目指しています。失語症を始めコミュニケーションの障害は、患者様自身の頑張りだけでなく周囲の方々の理解が不可欠となります。個々の会話特徴を捉え、具体的な意思確認の方法や本人が理解しやすい質問の仕方など、情報提供や会話方法の助言を行っています。

＊当センターを受診される方、読者に向けてお願いします。

普段の生活からウォーキングや筋力トレーニングを習慣づけて怪我や病気に負けない体を作りましょう！健康な体は普段の生活の仕方が一番大事です。毎日５～10分でも良いので体を動かしていきましょう！

紹介状をお持ちください

初めて千葉県循環器病センターを受診される方は、
他の医療機関からの紹介状をお持ちください。

千葉県循環器病センターは、循環器系疾患（心血管疾患、脳血管疾患）を中心とした高度先進医療を行っております。また、地域中核病院として他の病院・診療所と密接な連携を図りながら症状の重い患者様のために二次および三次の救急医療を行っております。急性期医療を担っており、急性期紹介型の病院を目指しております。このため、すべての患者様への対応をすることは人的物的な資源から困難となります。当センターへ受診される場合は、できるだけかかりつけ医または地域医療機関からの紹介状の持参をお願いしております。

また、急性期医療を終え、病状が安定した方については、かかりつけ医または紹介元の医療機関等での診療の継続をお願いしております。

当センターの診療および業務内容をご理解された上で、紹介状持参をして受診していただければ幸いに存じます。

紹介状持参するメリット

①かかりつけ医から電話で診察予約ができる。
②外来診療が優先的に受けることができる。
③当日予約と比べて待ち時間が少ない。
④初診時の本人負担額が軽くなる。

診察予約・受診方法

①かかりつけ医で紹介状作成してもらいます。
②かかりつけ医から電話で診察予約を取ります。
③診察予約日時を記入した予約票をかかりつけ医へFAXします。
④診察予約当日、紹介状持参し、予約時間に合わせて来院し、窓口で受付します。

ご不明なことがありましたら、千葉県循環器病センター地域医療連携室までお問い合わせください。

お問合せ先 千葉県循環器病センター地域医療連携室　TEL 0436－88－3111（代表）